



笑顔！松本だより

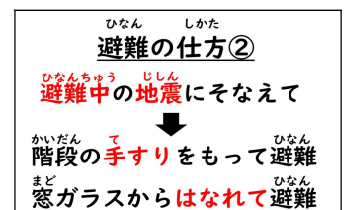
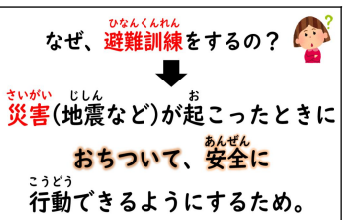
自ら、そして仲間と、
未来をたくましく
生きる力を身につける子

みんなの「いのち」はひとつ
だから・・・
いのちをまもるための くんれんは
「しんけん」に

福井市松本小学校 学校だより
令和7年10月7日 第7号
TEL 22-8813 FAX 22-8892
Mail matsu-e@fukui-city.ed.jp

9/26(金) 避難訓練を実施しました

緊急地震速報後に地震が発生し、家庭科室から出火したという想定で、避難訓練を実施しました。前日には安全指導担当の眞田先生から、「なぜ、避難訓練を行うのか」「地震が起きた時の行動のポイント」などについて、右や下の資料を使い、全校児童に向けてお話がありました。

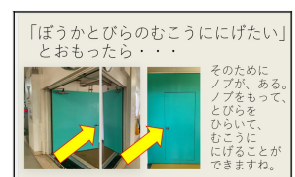
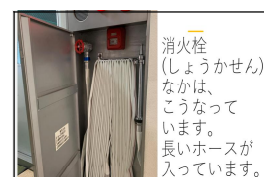


避難訓練は、私たち教職員にこそ重要な訓練の場となります。事前に計画を練り上げ全員で話し合い、自分の役割(全体指示・火元特定と初期消火・通報・児童避難・残留者確認等)を確認して実施しました。

各教室では、地震発生後の放送や先生の指示で落ち着いて行動し、体育館への避難も速やかに行うことができ、避難開始から全員の避難を確認するまでにかかった時間は4分半でした。職員室では地震後の全体指示を行うとともに、初期消火班が現場に向かい火元特定と初期消火の判断、通報係が消防署への通報、非常持ち出し係が緊急時連絡カード等の搬出を行いました。

避難後、校長より『避難訓練～学校にある、命を守る大切なもの～』と題して話をしました。「1年生から6年生まで、どの教室の階にもある防災設備、学校で生活する私たちが『実際にどんなものなのかを知っておくこと』が大事ですね」と伝え、1年教室の階を例に進めました。

消火器、火災報知機、消火栓、防火扉など、日常で目にする防火設備を写真で見せながら、「どこにあるか」「どうやって使うのか」「(使うかどうか、判断することも含めて)誰が使うのか」



たいせつなことは、いざという時のために、どうやって、だれがつかうのか知っておく。



高学年を中心に体験をしたいと考えています。)最後に、「守ってほしいことは、いざという時に命を守るため使えるように、使わない時は絶対にさわらないこと」「大切なことは、いざという時のために、どうやって使うのか、誰が使うのか知っておくこと」と話しました。福井中消防署の方からは「大変迅速な避難であった」と、おほめの言葉をいただきました。

地震や火事は、授業中に起きるとは限りません。今後は休み時間中の訓練や、いつ行か知らせず行う訓練等、経験を積み重ねていきます。今回は保護者の皆様に訓練を公開し、たくさんの方のご参観とご感想をいただきました。今後に生かして参ります。本当にありがとうございました。

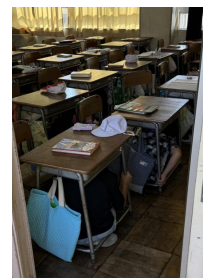
<児童感想より>

※途中省略しています。ご了承ください。

- すこしこわかったけど、しんけんにできました。ひなんするとき(かがんだとき)手すりの下をもつことを、はじめてしました。(1年児童)
- 今日のひなんくんれんで、火さいほうちきなどの名前をはじめて知りました。くんれんをもっといっぱいやって、何かあったときにじゅんびしておきたいです。(2年児童)
- 校長先生、消防署の方のお話を聞いて、今もこれからも、しっかりひなんをしたいと思いました。本当の火事の時は、ひくいしせいできれいな空気をすい、けむりをすわないようにしたいです。しんけんに「おはしも」を守れたので、次もしていきたいと思いました。(3年児童)
- 学校はさいがいの備えがたくさんしてあって、ありがたいです。パトカーなどは、松本小に5分で行くのがびっくりしました。消火せんは40mで勢いよく水が飛び出し、消火器がきかなかったら使うと分かりました。防火とびらは、最初はふつうのとびらだと思っていたけど、さいがいのためのものだと分かりました。これからも自分の命を守りたいです。(4年児童)
- すばやく机の下にもぐって頭を守るのが大切だと思いました。松本小にも、火災の時に使う道具があることを知りました。かんしん(感震)ブレーカーがなかったら、電気が流れ続け火事になることを知り、家についているか調べたり、もしなかったら提案してみたいです。

(5年児童)

- 「おはしも」をしっかりとて真剣に取り組むことができたので、本当になったらあせらずにできると思います。消防署の方のお話にあった「感震ブレーカー」を親と話し合いたいなと思いました。放送や先生の指示を聞いて姿勢を低く、ハンカチで口を押さえ、帽子をかぶって避難できました。学校の設備について改めて知ることができたので、よかったです。(6年児童)



<保護者の方の感想より>

- 参観ありがとうございました。写真を使い、実際に校内にある防災設備について考えることは、子どもにとって身近で分かりやすく、自分事としてとらえるよいきっかけになったと思います。校長先生や消防署員の方のお話をもとに、親子で会話をすることができました。(1年生保護者の方より)
- 1年生で心配していましたが、クラス全員がサイレンと同時に机の下に入れていました。帽子をすぐにかぶる子もいて、感心しました。体育館への避難も、スムーズにできていました。見に行けてよかったです。(1年生保護者の方より)
- 児童の避難の後、先生が最終見回りで大きな声で「誰かいませんか?」と言ってまわっておられたのもよかったです。「いたら、返事をして!」だと、より具体的な指示になり、実際に逃げ遅れた子がいた場合、その子が行動をとりやすくなるかもしれないと思いました。(2年生保護者の方より)
- 私自身も小中学生の時に消火器を実際に体験したので、百聞は一見に如かずで、できる限り体験させてあげてほしいと思います。家では、子どもに「自分たちだけで対応しようとしな、大人に知らせる、その場から逃げる」ことを話しました。(2年生保護者の方より)
- 子どもたちが真剣に訓練に取り組む姿に、それぞれが目的をしっかりと理解して臨んでいるのだと分かりました。実際に災害が起きる時は、休み時間で遊んでいたりと、トイレにいて1人だったり、先生や友達と一緒にの時とは限りません。その後どこに避難するかについて、放送で指示があるのだろうと思いますが、落ち着いて聞ける状態ではないかも知れません。普段の生活でも子どもたちと考え、共有できる時間があると、より安心だと感じました。(3年生保護者の方より)
- 放送が入ると、どの子もすぐに机の下にもぐることができ、教室からも他のクラスからも声は聞こえず、落ち着いて行動しているのが印象的でした。日頃から繰り返し練習してきた成果だと感じます。消防士さんのお話で、火災にも電気が原因となるものがあることを初めて知りました。特に感震ブレーカーの存在を知らなかったのも、自宅でも導入を検討したいです。(4年生保護者の方より)
- 子どもたちが放送をしっかりと聞いて指示に従って行動していたり、動かずに机の下で待機している姿を見て、心強く感じました。校長先生のお話では改めて学校の防災設備を知ることができて、子どもたちにとっても大事な時間になったと思います。消防士さんのお話は知らないことがあり、早速いろいろ調べてみました。今の時代、避難訓練は大事だと思います。その様子を見る機会を作っていただき、本当にありがとうございました。(5年生保護者の方より)



☆他にもたくさん頂戴しました。ありがとうございました。